

北野の風

岡崎市立北野小学校 令和2年度 学校通信 No.6 11月30日(月)

たからもの

北野小学校長 丹羽 郁人

我が家は、私と妻、そして三人の子供。五人家族である。息子たちは、二十歳を過ぎたが、誕生日には丸いケーキを購入し、ロウソクに灯を点け、誕生日の歌をみんなで歌う。幼いころは嬉しそうにしていたが、今はどこか恥ずかしそうである。歌を歌い終えた後は、ロウソクの灯を消し、妻がケーキを五つに切る。五つに切るから、同じ大きさに切るのは難しい。誕生日の子が先ず選び、残りを子供たちがじゃんけんをする。最後に残った少し小さめのケーキを、私と妻で分け合う。家族は、そして子供たちは、私にとって大切な、大切な、「たからもの」である。子供たちの今年の誕生日も、ケーキを五つに切ることができた。「今年も五つに切ることができた。」その幸せを噛みしめる。その有り難さを味わってケーキをほおぼる。

「お父さんって、ホントにおいしそうにケーキを食べるね。」高校生の娘がからかう。その幸せ……。

さて、小学二年生の国語の教科書(三省堂)に、岡崎の小学校二年生の子が書いた詩が載っているのをご存じだろうか。「たからもの」という詩だ。

父さんに、

「たからものはなに。」

「家ぞくだよ。」

「家ぞくだよ。」

お母さんに、

「たからものはなに。」

「家ぞくかな。」

「家ぞくかな。」

お姉ちゃんに、

「たからものはなに。」

「家ぞくだよ。」

「家ぞくだよ。」

「家ぞくだよ。」

「家ぞくだよ。」

「家ぞくだよ。」

「家ぞくだよ。」

「家ぞくだよ。」

でも、

ぼくのたからものは、

「じぶん」だよ。

ぼくが病気になったり、

しんじやったりしたら、

家ぞくがなくなくなるもん。

ぼく一人だけちがうけど、

お母さんは、

「ありがとう。」

「ありがとう。」

「ありがとう。」



それぞれの「たからもの」をそっと抱きしめる。そんな世の中でありたい。



学年別体育授業公開



たのしかったうんどうかい
 一年一組 もりもと こはる
 わたしは、十月三十一日にう
 んどうかいをしました。一かい
 目は、ときようそうをしました。
 二かい目に、たいふうの目をし
 ました。ときようそうは、はや
 いこがたくさんいたけど、三
 でした。すぐたのしかったで
 す。たいふうの目は、くるくる
 まわって、目がまわったけど、
 すぐたのしかったです。さい
 ごに、みんなでしゃしんをと
 りました。ゆなちゃんのみこち
 んとりおちゃんとのちやんと
 しゃしんをパシャパシャとりま
 した。おかあさんが、「がんば
 ったね。」といいました。うれし
 くなって、つぎもがんばろうと
 おもいました。うんどうかいは、
 すごくたのしかったです。



がんばった学年体いく
 二年一組 江原 あいな
 わたしの学年体いくの思い出
 は、しょうがいぶつりレーでゆ
 うしようしたことです。
 本番は、クラスでれんしゅう
 してきたほうで、がんばりま
 した。あみくぐりをしたときは、
 ペアの男の子と、手つだいなが
 ら、あみをくぐりました。野さ
 いのくじを引いて、そだてた野
 さいの絵を見つけたときには、
 二人できようかして、早めに見
 つけることができました。
 ゆうしようしてもらったトロ
 フィーは、キラキラしていまし
 ました。また、来年もがんばりたい
 です。



心をつないだ一組
 三年一組 本田 夢華
 わたしは、リレーはとくいで
 はないので、玉入れをがんばり
 ました。
 今までの練習では一つも入ら
 なかったのに、本番では一つ入
 りました。学年べつ体育をがん
 ばろうとしたから、一つ入った
 のかなあ。
 玉入れもがんばりましたが、
 リレーもがんばりました。リ
 レーでは、わたしの中で一番は
 やいスピードが出ました。バト
 ンをさい後までつなげることが
 できてよかったです。友だちの
 ほのかさんがおうえんしてくれ
 たので、さい後までがんばるこ
 とができたのだと思います。



みんなでがんばった学年体育
四年二組 横山 陽樹
ぼくたちのクラスは、学年体育の台風の目で、二試合連続一位になりました。

一位になった理由は、みんなで作戦会議をし、いろいろな意見を出し合ったからだと思います。練習のときには、みんなの意見を生かして練習をしたり、みんなで大きな声でおうえんしたりして、本番に向けてたくさん練習をしました。

本番では、みんな全力でおうえんをし、全力で走ったおかげで、他のクラスに勝てました。来年、学年体育や運動会があったら、たくさん練習して、また一位を取りたいです。

勝ち取ったぞ！大優勝！

五年一組 上田 美羽
十月三十一日に、学年別体育授業公開がありました。

走る前、私は不安な気もちでいっぱいでした。バトンをもらうとき、目の前には、二組の子がいました。ぬかせようと思いました。ぬかせませんでした。次の子にぬいてほしくて、必死に「行け！」「ぬかせ！」と声を出しました。

結果発表のときに、すわりながら手を組み、願いをこめていました。先生が「い」と言ったらしゅん間に大声でよろこびました。リレーで六位を取って、すごく不安だった気もちが、一気に晴れました。これもみんなです。いっぱい練習したからだと思いません。



私たちはONE・TEAM

六年三組 北野 美和
小学校生活最後の体育行事。きん張が高まるなか、クラスごとに入場し、音楽部の演奏が始まりました。

リレーは三位、帽子取りは一位でした。リレーはくやしかったけど、みんながとてもがんばっていたので、くいのないリレーになったと思います。

三組の合言葉はONE・TEAM。もちろん一位もうれしいです。でも、ただだけががんばったかも大事だと思っています。何かあったら協力し、困っていたら助け合える、そんな三組の子がみんな大好きです。わたしは、すてきな子どもたちが集まった三組の一員になったことをほかに思っています。



十月三十一日に行った学年別体育授業公開では、多数のご参観を賜り、誠にありがとうございました。

様々な制約に対するご理解・ご協力と、子供たちへの惜しみないご声援のおかげで、「小さな運動会」を無事に終えることができました。子供たちのたくさん笑顔と成長が見られる一日となりました。



修学旅行

最高に楽しかった修学旅行

六年一組 日野 友里

私は、修学旅行で奈良県と三重県に行きました。正直に言っても、他の学年や学校の修学旅行より、何倍も楽しかったと思います。バスの中でカラオケをしたり、スペイン村に行ったり、夜にレクをしたり。なかでも楽しかったのは、スペイン村でいろんなアトラクションに乗ったことです。ジェットコースターに乗ったときは、ふき飛ばされるかと思いました。楽しかったです。

修学旅行は、六年生のきずなもより深まったし、一番の思い出になりました。



先生からのエール！

六年二組 西崎 柚稀



「うわー、きれい。」
夜ご飯の後、少し歩いてグラウンドへ。笑いながら、話しながら。遊んで汗を流し、笑いが止まらない。そんな中、急にグラウンドのライトが全て消え、笑いが静まった。
「ドーン、パッ！」

真上に花のように広く大きな火花が打ち上がった。今まで以上に迫力があり、きれいに見えた。この瞬間、このみんなと、この先生たちと、この花火を見るのは最初で最後。私は、奇跡だと感じた。旅館への帰り道、花火の話で盛り上がった。こんな体験、もう一生ない。この学年の一人になれてよかった。

思い出に残る修学旅行

六年三組 佐々木 亮真

ぼくは、修学旅行でたくさん思い出ができました。奈良公園では、鹿にせんべいをあげました。思ったよりも大きい鹿に突進されたけど、かわいかったです。元興寺では、住職さんの説明で世界最古の木材が残っていると聞き、こんなにすごい場所にいるのかとびっくりしました。もっとおどろいたのは、大仏の大きさです。全長一四・九八mで、手の平には大人が十人乗れるとガイドさんに聞き、勉強になりました。志摩スペイン村では、スプラッシュモンセラーに友達と乗って、水が気持ちよくて楽しかったです。

帰ってきたときには、修学旅行がもう一日あればいいのと思いました。

